SPECTROMAXx 10

据置型固体金属発光分光分析装置

卓上型の固体発光分析装置において、世界最高クラスの繰り返し再現性を実現

例）– 鉄中の炭素 4% 含有時の SD 値：0.016
– アルミダイカスト ADC12 の Si 10% 含有時の SD 値：0.035

最新型の CMOS 検出器を搭載することにより、分析可能な元素の増加を実現

– 10 のベース金属、65 の検量線プログラム、59 の元素に対応
– ソフト追加のみで鉄中の窒素、銅中の酸素、チタン中の酸素と水素が測定可能

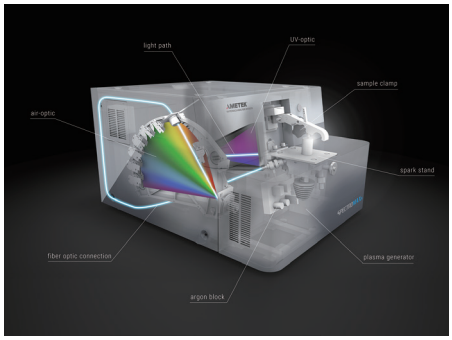
装置サイズがコンパクトながら、優れた堅牢性を保持

– 1 日の分析回数が 500 回で 10 年以上使用されている事例もあり

※生産性向上特別措置法税制・中小企業経営強化法税制 認定品

– 固定資産税の減免を受けることができます

SPECTRO AMETEK



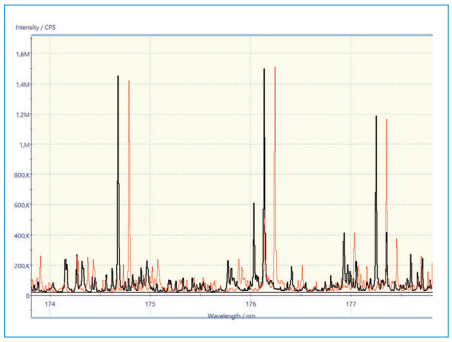
アルゴンガス消費量の低減化

待機時においては、MAXx 08M 型と比較しアルゴンガス消費量を 64% まで削減でき、ランニングコストの削減に貢献します。

	分析時 (l/h)	待機時 (l/h)	休止時 (l/h)
MAXx 08M	227	25	0
MAXx 09	200	9	0

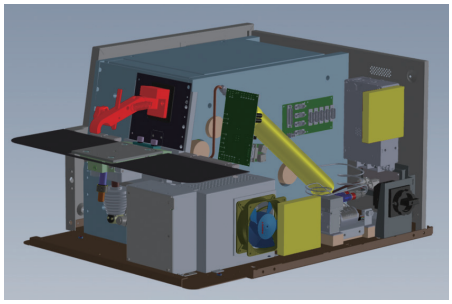
装置の使い勝手の向上

装置前面にスタート・ストップボタンが追加され、より迅速な分析が可能となりました。また、オプションのクイックチェックプログラムにより、最短 12 秒と短時間での分析を行うことができ、生産性の向上に貢献します。



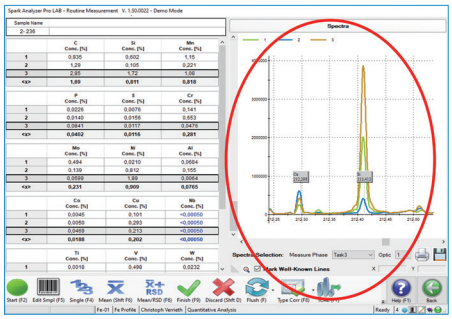
iCAL 2.0

iCAL (Intelligent Calibration Logic) システムにより、ひとつの試料で標準化が完了するため、作業の大幅な時間短縮が可能となります。また、周囲の温度や圧力が多少変化しても、より安定性のある分析を行うことができるようになりました。



診断システム

最新式の自己診断ソフトウェアを搭載しています。これまでの自己診断ソフトウェアには検出できなかった具体的な故障個所を指示します。これにより保守サービスが容易になり、保守時間の大幅な短縮に貢献します。



スペクトラムスキャン

オプション機能として、定量結果と同時に定性結果も表示することができます。従来は別ソフトを立ち上げる必要がありましたが、本機能により同一の画面で強度分布を確認でき、生産性の向上を図れます。

検出器：
高解像度 CMOS マルチディテクタ

測定波長範囲：
MAXx アドバンスト：120 - 670 nm
MAXx：233 – 670 nm

PC：
Windows 10 Pro

製品重量：
BT 型：74 kg
FV 型：125 kg

製品サイズ：
BT 型：高さ 450 x 幅 660 x 奥行 790 mm
FV 型：高さ 1350 x 幅 660 x 奥行 790 mm

電源：
90 – 253 V, 50/60 Hz
最大 600 VA

SPECTROMAXx 10

据置型固体金属発光分光分析装置

製品に関するお問い合わせ：

アメテック株式会社 スペクトロ事業部

東京オフィス
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30
芝NBFタワー（1F：デモルーム　3F：オフィス）
TEL：03-4400-2390
FAX：03-4400-2301

大阪オフィス
〒532-0003 大阪市淀川区宮原3丁目3番34号
新大阪DOIビル 5F（デモルーム及びオフィス）
TEL：06-6399-9515（代）
FAX：06-6399-9519

Eメール：spectro-japan.info@ametek.co.jp

www.spectro.jp